

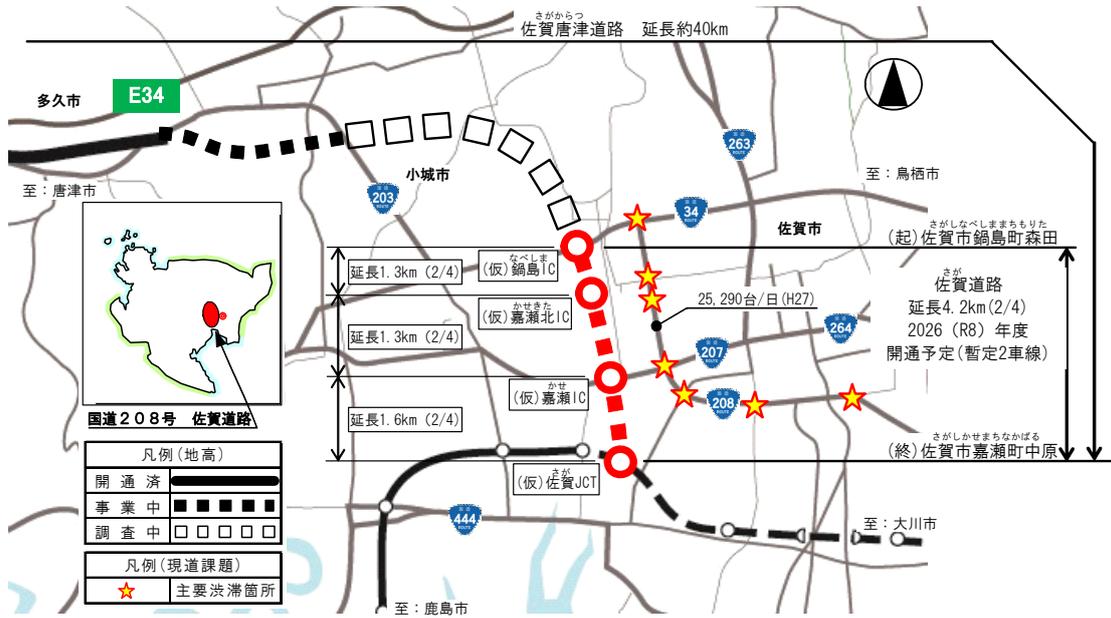
再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

事業名	地域高規格道路 佐賀唐津道路 一般国道208号 佐賀道路	事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県佐賀市鍋島町森田 至：佐賀県佐賀市嘉瀬町中原			延長	4.2 km
事業概要					
一般国道208号佐賀道路は、地域高規格道路佐賀唐津道路の一部を構成し、一般国道208号の交通混雑の緩和や、交通安全の確保を図るとともに、災害時における緊急輸送路や代替路としての機能確保を目的とし、佐賀県佐賀市鍋島町森田から佐賀県佐賀市嘉瀬町中原までの延長4.2kmを整備するものである。					
平成28年度事業化	都市計画決定 有り	令和元年度用地着手	令和元年度工事着手		
全体事業費	368億円	事業進捗率	約16%	供用済延長	— km
計画交通量	29,000～37,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	2.0	総費用 (残事業)/事業全体 259/300億円 事業費：255/296億円 維持管理費：4/4億円	総便益 (残事業)/事業全体 590/590億円 走行時間短縮便益：454/454億円 走行経費減少便益：96/96億円 交通事故減少便益：40/40億円	基準年 令和2年
	(残事業)	2.3			
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.9～2.1(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.2～2.4(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.7～2.1(事業費 ±10%) 事業費：B/C=2.0～2.4(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.8～2.1(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.1～2.4(事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀唐津道路の一部を形成しており、佐賀市から唐津市に至る沿道各都市の交流を促進し産業や観光の活性化に大きく寄与することが期待される。 ・佐賀道路の整備により、佐賀市から唐津市までの所要時間の短縮（約21分）が期待される。 ・国道208号の交通渋滞の緩和、安全性の向上が期待される。 ・救急医療施設までの所要時間短縮が図られ、救命率向上が期待される。 					
関係する地方公共団体等の意見					
・佐賀市から多久市までの沿線市町、県議会議員、商工会等で構成される佐賀唐津道路多久・佐賀間整備促進期成会（会長：小城市長）等により早期整備の要望が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
・佐賀県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・九州佐賀国際空港ターミナルビルの拡張完了予定（R3）					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率約34%、事業進捗率約16% ・これまでに、調査・測量・設計、用地買収、工事を実施してきている。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、橋梁及び道路改良の工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
・全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
・費用対効果の高さや円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案すると事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。